

豊川市地域公共交通計画 追補版

令和6年1月

豊 川 市

目 次

1. 豊川市地域公共交通計画とは	1
1-1. 背景と目的	1
1-2. 位置づけ	3
2. 上位計画・関連計画の整理	4
2-1. 上位計画	4
2-2. 関連計画	5
3. 第2次計画の総括	8
3-1. 第2次計画の計画事業	8
3-2. 計画事業の主な取組状況	9
3-3. 取組の成果・評価	17
3-4. 第2次計画の評価	20
4. 市の概況と公共交通に関わる現状	22
4-1. 豊川市の公共交通を取り巻く社会環境の状況	22
4-2. 第2次計画の基本目標に対する現状	34
4-3. 豊川市コミュニティバスの個別路線の現状と評価	35
5. 第3次計画策定に向けた課題の整理	60
6. 持続可能な地域公共交通網の形成に資する地域公共交通の活性化及び再生の 推進に関する基本的な方針	63
6-1. 将来像	63
6-2. 基本方針	63
【追加】〈補助系統の地域公共交通における位置づけ	67-2
【追加】〈補助系統の役割・必要性〉	67-3
7. 第3次計画の区域と計画期間	68
7-1. 計画区域	68
7-2. 計画期間	68
8. 第3次計画の目標	69
8-1. 基本目標	69
8-2. 数値目標	70
【追加】数値目標データの取得	70-2
8-3. 数値目標内訳	71
9. 目標を達成するために行う事業及びその実施主体	74
9-1. 公共交通路線関連事業	75
9-2. 利用促進関連事業	81
9-3. その他事業	87
10. 達成状況の評価	88
10-1. 事業評価の実施	88
10-2. 評価方法	88
10-3. 事業の推進体制と進捗管理	90
11. その他計画の実施に関して地方公共団体が必要と認める事項	90
12. その他	91

1 2 - 1.	豊川市地域公共交通会議の実施経過	91
1 2 - 2.	豊川市地域公共交通会議設置要綱	97
1 2 - 3.	豊川市地域公共交通会議委員名簿	100

6. 持続可能な地域公共交通網の形成に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針

6-1. 将来像

6-2. 基本方針

〈補助系統の地域公共交通における位置づけ〉

本市のコミュニティバスは、持続可能な地域公共交通網を維持するために、国の地域公共交通確保維持改善事業〈フィーダー系統〉の補助を受けて運行しています。本計画で補助系統を位置づけ、その役割を明確にすることで、効果的、効率的な運行を図ります。

区分	路線名	運行系統名	運行系統			事業区分	運行態様	実施主体
			起点	経由地	終点			
基幹路線	ゆうあいの里八幡線	ゆうあいの里～豊川特別支援学校～ゆうあいの里	ゆうあいの里	豊川市民病院	ゆうあいの里	4条乗合	路線定期	豊川市 (運行は交通事業者へ委託)
		ゆうあいの里～ゆうあいの里	ゆうあいの里	豊川市民病院	ゆうあいの里			
		ゆうあいの里～イオンモール豊川	ゆうあいの里	西門橋	イオンモール豊川			
		ゆうあいの里～イオンモール豊川	ゆうあいの里	豊川市民病院	イオンモール豊川			
	千両三上線	上千両集会所～三上地区市民館	上千両集会所	豊川駅前	三上地区市民館			
		上千両集会所～豊川駅前	上千両集会所	桜ヶ丘ミュージアム	豊川駅前			
	小坂井線	市役所～西小坂井駅	市役所	豊川市民病院	西小坂井駅			
		豊川市民病院～西小坂井駅	豊川市民病院	こざかい葵風館	西小坂井駅			
	音羽線	イオンモール豊川～グリーンヒル音羽	イオンモール豊川	国府駅	グリーンヒル音羽			
	御津線	あかね児童館～イオンモール豊川	あかね児童館	国府駅	イオンモール豊川			
地域路線	一宮地区地域路線	東回り	いかまい館	一宮支所	いかまい館	4条乗合	路線定期	豊川市 地域 (運行は交通事業者へ委託)
		西回り	いかまい館	一宮支所	いかまい館			
		中回り	いかまい館	一宮支所	いかまい館			

(令和5年12月現在)

＜補助系統の役割・必要性＞

- ①ゆうあいの里八幡線は、豊川市民病院、大型商業施設及び国府駅等を結び、通院、買い物及び鉄道への乗換え等に利用されている路線です。また、豊川市民病院や大型商業施設では、地域間幹線系統の新豊線・豊川線への接続により、広域移動も可能とするために必要な路線です。
- ②千両三上線は、千両地区と三上地区を結び、鉄道への乗換えに利用されている路線です。また、豊川駅前では地域間幹線系統の新豊線・豊川線への接続により、広域移動も可能とするために必要な路線です。
- ③小坂井線は、小坂井地区と市役所を結び、豊川市民病院や大型商業施設への通院や買い物に利用されている路線です。また、豊川市民病院やイオンモール豊川では、地域間幹線系統の新豊線・豊川線への接続により、広域移動も可能とするために必要な路線です。
- ④音羽線は、音羽地区と豊川市民病院や大型商業施設等を結び、通院や買い物等に利用されている路線です。また、豊川市民病院やイオンモール豊川では、地域間幹線系統の新豊線・豊川線への接続により、広域移動も可能とするために必要な路線です。
- ⑤御津線は、御津地区と豊川市民病院や大型商業施設等を結び、通院や買い物等に利用されている路線です。また、豊川市民病院やイオンモール豊川では、地域間幹線系統の新豊線・豊川線への接続により、広域移動も可能とするために必要な路線です。
- ⑥一宮地区地域路線は、福祉施設であるいかまい館を中心として旧一宮町内を循環する路線であり、地域の福祉に欠かせない路線です。また、一宮支所では、地域間幹線系統の新豊線への接続により、広域移動も可能とするために必要な路線です。

①から⑥のコミュニティバスは、地域間幹線系統に接続し、通院や買い物等の日常生活に必要不可欠な路線であるが、本市や交通事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持改善事業＜フィーダー系統＞の補助により運行を確保・維持する必要がある。

8. 第3次計画の目標

8-1. 基本目標

8-2. 数値目標

数値目標データの取得

目 標			データ取得先	データ取得年
目標 1	公共交通 機関 利用者数	合計 (鉄道以外)	運行事業者・ 協会提供データ	毎年
		コミュニティバス	運行事業者 提供データ	毎年
		豊鉄バス 新豊線・豊川線	運行事業者 提供データ	毎年
		豊川市内 タクシー	協会提供データ	毎年
	主要な鉄道駅の 1日あたりの乗車人数（人）		運行事業者 提供データ	毎年
目標 2	コミュニティバス 年間収支率（利用者負担率）		運行経費より 算出	毎年
目標 3	コミュニティバス 行政負担額		運行経費より 算出	毎年
目標 4	市民移動手段の 公共交通分担率		アンケート 調査	アンケート 実施年
目標 5	バス停・駅勢圏等カバー率		バス停・駅の 位置より算出	令和5年度 令和7年度